

「主な取組」検証票

施策展開	3-(12)-ア	観光リゾート産業の振興	施策	① 島々の個性や魅力を生かした着地型観光プログラム等の開発
			施策の小項目名	○着地型観光プログラム等の開発支援
主な取組	宮古広域公園整備事業			
対応する主な課題	②離島観光の国際化や多様化する観光ニーズに対応するためには、離島の魅力ある資源を生かした観光プログラムの創出、国内外における離島の認知度向上、新たな旅行市場の開拓等の課題に適切に対応する必要がある。			

1 取組の概要 (Plan)

取組内容		年度別計画				
伊良部大橋の開通により一体となった宮古圏域において、観光振興と定住環境の整備に寄与する広域的なレクリエーションの場として、宮古広域公園を整備する。		H29	H30	R元	R2	R3
実施主体	県、宮古島市					基本設計、環境アセス、用地補償、整備
担当部課【連絡先】	土木建築部都市公園課 【098-866-2035】					

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況 (単位：千円)

予算事業名		公園費 (単独事業)					R4年度		令和3年度活動内容と令和4年度活動計画	
主な財源	実施方法	H29年度 決算額	H30年度 決算額	R元年度 決算額	R2年度 決算額	R3年度 決算見込額	当初予算額	主な財源	OR2年度	OR3年度
県単等	委託	155,613	58,517	13,280	9,630	726,287	424,788	内閣府計上	事業化に向けて関係機関と協議し、都市計画決定及び都市計画事業認可を受けた。	事業を推進するため、用地買収等を進める。

予算事業名		公園費 (単独事業)					R4年度		令和3年度活動内容と令和4年度活動計画	
主な財源	実施方法	H29年度 決算額	H30年度 決算額	R元年度 決算額	R2年度 決算額	R3年度 決算見込額	当初予算額	主な財源	OR3年度	OR4年度

活動指標名	基本設計、環境アセス、用地補償、整備				R3年度			R3年度 決算見込 額合計	進捗状況	活動概要
実績値	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B			
	-	-	環境アセスの実施	都市計画決定 都市計画事業認可	用地買収等	用地買収等	99.9%	726,287	順調	公園整備事業を推進するため、用地買収等を進める。
活動指標名					R3年度					
実績値	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B			進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果
										公園整備事業における用地買収等について、関係機関との調整等を適宜実施し、円滑に用地買収等ができた。取組は順調である。
(2) これまでの改善案の反映状況										
令和3年度の取組改善案						反映状況				
・当該公園の基本方針(海と海辺を活かした公園)を踏まえ、エコアイランドとしての宮古圏域のイメージを活かした施設および多様なレクリエーション需要に対応した公園の施設設計を行うため、関係機関等との協議体制により整備を推進する。						・関係機関等との協議体制をつくり検討を進めた。また、公園整備に向けて用地補償を進めるとともに、調査検討を行った。				

様式1(主な取組)

3 取組の検証 (Check)

(1) 推進上の留意点 (内部要因、外部環境の変化)

○内部要因

・宮古島の観光スポットとして根付きつつある民間施設が公園予定地内の中央部に位置しており、有効活用方法を検討する必要がある。

○外部環境の変化

・平良港「国際クルーズ拠点」の指定に伴い、近年、宮古圏域における外国人観光客は大幅に増加しており、観光リゾート地としての魅力向上を図るため、広域的なレクリエーション需要に対応した広域公園の整備に努める必要がある。

・令和3年度は、令和2年度に引き続き、新型コロナウイルスの影響により、観光客は減少している。

(2) 改善余地の検証 (取組の効果の更なる向上の視点)

・関係機関等との協議を行いながら、エコアイランドとしての宮古圏域のイメージを活かした公園整備の推進を検討していく必要がある。

4 取組の改善案 (Action)

・当該公園の基本方針(海と海辺を活かした公園)を踏まえ、エコアイランドとしての宮古圏域のイメージを活かした施設および多様なレクリエーション需要に対応した公園の施設設計を行うため、関係機関等との協議体制により整備を推進する。